



## 年頭に当たって

(一社) 日本養鶏協会 会長 米山 大介

### 2024年鶏卵産業の課題と展望



新年明けましておめでとうございます。

昨年ロシアのウクライナ侵攻に加え10月に中東ガザでハマスとイスラエルの軍事衝突が起こり、世界はますます混沌の渦に巻き込まれています。

石油、天然ガス等のエネルギー資源、穀物価格は高止まりし、それによるコストアップは世界経済に打撃を与え、わが国では大幅な円安が続き国民生活は痛手を受けています。

政府はガソリンや電気代に補助金を出し、所得税や住民税の減税を行うと発表しましたが、防衛費や子育て支援の財源が決まらない一方で減税を行うのはさすがに国民にも見透かされ支持を失いました。

補助金も減税も国の借金による対応で、そのツケは国民に返ってきます。コストアップ分は価格に反映していくしかありません。

一昨年从去年春まで大量に発生した高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）による約1,700万羽の殺処分の影響は甚大で、一時は大変な品不足と価格高騰を招きました。

この間生産者や流通、資材、運送関係も影響を受け、運転資金の確保に苦労した企業も多々ありました。

今シーズン、生産者の皆さんは一層の防疫体制を敷き、精神的にも大変な苦労をされていることと思います。

国が分割管理を認めましたが、整備に多額の資金を必要とし、全て自己負担で行うとなると厳しい面があります。

発生した場合に問題になるのは埋却地です。埋却地を確保できていない生産者もいるでしょうし、昨今は2回目の発生もあり得、2回分の埋却地を確保している生産者がどれ程いるのでしょうか。埋却地が確保できず再開できなければ生産者にとっては死活問題です。

どうしても確保できない場合、行政の協力が欠かせません。狭い日本で殺処分と埋却を繰り返していたら利用できる土地がなくなります。処理に時間がかかっても焼却を基本にする、埋却した土地を掘り返して再利用する場合は国が補助する等のことを考えていただきたい。

一方でHPAIによる減産で失った需要回復にこれ程苦しむとは思いませんでした。業務用のメニューから卵が外され、その復帰に時間がかかっています。HPAIの流行を懸念したり、そもそも卵価が上がり食材として採用しにくくなった等の理由からでしょうが、やはり10%以上の鶏が殺処分になったインパクトは計り知れないものがありました。

まだ羽数が完全に戻っていないのに、鶏卵相場は昨年秋から下がり始め生産コスト割れの状態に追い込まれています。ユーザーにもっと卵を使ってくださいと声高に訴えたいところですが、半年ほど前までは卵不足でこちらから出荷制限していた手前、説得力もいま一つです。販売活動の難しさを感じます。

アニマルウェルフェアに関しては昨年7月農林水産省畜産局発出の飼養管理指針で「将来的にネストや止まり木などの付帯設備を設置することが望ましい」とされましたが、日本養鶏協会が粘り強く働きかけ、Q & Aで既存のケージに設置する事態は回避されました。

今後は業界として、動物福祉レベルを上げるには何が出来るか議論し、主体的に取り組むことが求められます。

問題山積の年明けですが、まずはHPAIを出さないことが大切です。残念ながら昨年11～12月で数件の発生をみましたが、皆さんとともに防疫に努めてまいりたいと思います。



INDEX

- ・令和6年度 畜産物価格等に関する要請について ..... 2-3
- ・令和6年度 鶏卵の補てん基準価格及び安定基準価格の答申について ..... 4
- ・配合飼料供給価格の改定幅の動向について ..... 4
- ・韓国で高病原性鳥インフルエンザが大量発生 引き続き、厳重な警戒を！ ..... 5
- ・「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」冊子 プレゼントキャンペーンのご報告 ..... 6-7
- ・農業経営統計調査 農業経営収支（農林水産省） ..... 8-9
- ・統計データ ..... 10
- ・協会活動報告 ..... 11

## 令和6年度 畜産物価格等に関する要請について

令和5年12月1日、自民党畜産・酪農対策委員会（古川康委員長）が自民党本部で開催され、4日には自民党畜産振興議員連盟総会（森山裕会長）が衆議院第一議員会館で開催されました。

出席した日本養鶏協会の米山会長は、令和6年度鶏卵生産者経営安定対策事業に係る基準価格の決定に当たり、下記の要望書を提出しました。

令和5年12月

### 令和6年度 畜産物価格等に関する要請

一般社団法人 日本養鶏協会  
会長 米山 大介

我が国の養鶏産業の振興につきましては、日頃より格別のご支援ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。鶏卵生産者は、高品質で安全な鶏卵を適正価格で安定供給するため日々努力しております。

しかし円安等により、経営費の半分を占める飼料費やその他の物財費が高騰し、価格転嫁が十分でなければ、厳しい経営を余儀なくされます。

また養鶏は、飼料米の消費量や肥効に優れた鶏糞の供給の観点から、畜産の中でも資源循環型指向の産業といえます。

こうしたことを踏まえ、来年度の基準価格決定を含め畜産政策の策定に当たり、以下の点について特段のご配慮をお願いいたします。



1. 鶏卵生産者経営安定対策事業について

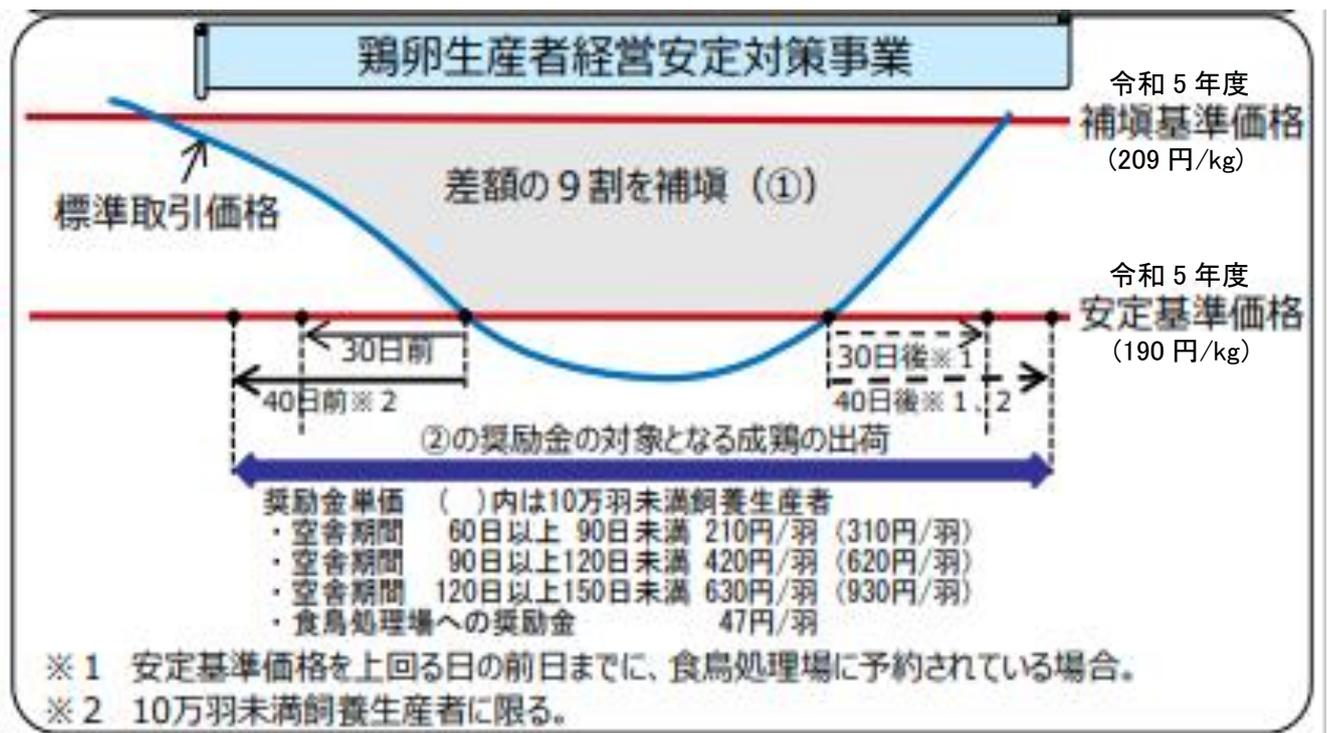
- (1) 鶏卵生産者の経営安定を確保し、成鶏更新空舎延長事業の効果を発揮し鶏卵需給の安定を図れるよう、十分な予算を確保すること。
- (2) 近年の卵価動向を踏まえ、高む生産コストに見合った、鶏卵の再生産が可能な水準となるよう、補てん基準価格を引き上げること。

2. 高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の徹底と被災農家の経営再建が図れるよう手当金に十分な予算を確保し、迅速な交付に努めること。併せて第9期家畜防疫互助事業の円滑かつ効果的な運用を図ること。

3. 持続可能な養鶏産業の推進について

- (1) 配合飼料価格安定制度について、借金運営から脱却し、安定した財源の裏付けがある等持続可能な制度になるよう検討すること。
- (2) 地域の循環型農業に資するため、耕種農家が地域で鶏糞を活用しやすい環境整備を図ること。

令和6年度鶏卵生産者経営安定対策事業の予算概算決定額は、前年度と同額の51億7千万円が計上されました。事業内容は令和5年度と変更はありません。





## 令和6年度 鶏卵の補てん基準価格及び安定基準価格の答申について

農林水産省は、「食料・農業・農村政策審議会畜産部会」（令和5年12月12日開催）の答申を受け、鶏卵価格が低落した場合に発動基準となる、「鶏卵価格差補てん事業」の補てん基準価格及び「成鶏更新・空舎延長事業」の安定基準価格を決定しました。

今回の答申では、昨年度に引き続き、配合飼料価格の高騰等による物財費の上昇分が、算定式の生産比率に反映され、昨年度ほどではないものの、基準価格は相応の上げとなりました。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
補てん基準価格	222 円/kg	209 円/kg	181 円/kg	181 円/kg
安定基準価格	202 円/kg	190 円/kg	159 円/kg	159 円/kg

## 配合飼料供給価格の改定幅の動向について

令和5年度1～3月期の配合飼料供給価格の改定幅については、全国全畜種総平均トン当たり2,800円値上げすることを決定しました（改定幅は配合銘柄ごとに異なる）。上げ要因としては、国際相場の高騰、海上運賃の上昇によるもので、値上げは令和4年度7～9期以来です。

改定額（対前期比）

単位：円/平均トン

区分	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期
令和5年度	▼2,000	▼2,000	▼2,700	↑2,800
令和4年度	↑4,350	↑11,400	据え置き	▼1,000
令和3年度	↑5,500	↑4,700	▼1,250	↑2,900
令和2年度	▼800	▼1,000	↑1,350	↑3,900
令和元年度	▼850	▼400	▼650	↑700
平成30年度	↑1,100	↑1,550	▼800	↑500

出典：全国農業協同組合連合会（JA全農）「配合飼料供給価格」

### ■令和6年1～3月期の配合飼料供給価格改定について

<https://www.zennoh.or.jp/press/release/2023/98517.html>



## 韓国で高病原性鳥インフルエンザが大量発生 引き続き、厳重な警戒を！

令和5年シーズンの高病原性鳥インフルエンザの国内での発生は、6事例、殺処分羽数59万羽となっており、令和2年以降4年連続で発生しているものの、件数、殺処分羽数ともこの4年間では最も小規模となっています。

一方、お隣の韓国では、12月3日の家きんでの初発生を皮切りに、19日までの半月間で21事例、殺処分羽数約102万羽と、大量発生しています。これまで、韓国で大量発生した後に、我が国でも大量発生するという傾向がありますので、農林水産省のホームページなどをご覧ください、引き続き、厳重な防疫体制をとってください。

### ☆農場の重点対策（農林水産省HPより）

- 農場付近の水場は水抜き、忌避テープの設置等により、野鳥を寄せ付けない工夫を。
- 長靴は洗浄してから消毒の徹底。消毒液は定期的、または汚れた都度交換。
- 集卵コンベアなどの開口部の隙間を塞ぐ。普段目の届きにくい屋根裏や入気口も点検し、破損があれば補修。
- 農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。
- 車両の消毒の徹底。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。
- 着替え、履き替えの前後で動線が交差しないよう境界を明確に。
- 洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/index-170.pdf>

### 発生の疑いがあった場合は早期通報を！

12月20日、農林水産省の家きん疾病小委員会及び疫学調査チームは、「4例目の鹿児島県出水市における発生事例においては、同一ケージ内及びその周辺で死亡鶏がかたまって3羽確認された時点で通報があり、発生後、極めて早期に防疫措置を開始できたことにより、その後、養鶏農場が密集する同地域における周辺農場での続発は確認されていない。」と指摘し、引き続き早期発見・早期通報を徹底するよう提言しています。

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/r5\\_hpai\\_kokunai-64.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/r5_hpai_kokunai-64.pdf)

早期発見・早期通報は、周辺農場への伝播を防ぐ上で有効な対策と考えられます。

大変だと思いますが、何とかこの冬を乗り切ってくださいますようよろしくお願い申し上げます。



## 「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」冊子 プレゼントキャンペーンのご報告

日鶏協ニュース1月号でご紹介いたしました冊子の消費者向けプレゼントキャンペーンについて、取り組み状況をご報告いたします。

### 1. 取り組みの概要

協会ホームページにおいて、一般消費者等を対象としたプレゼントキャンペーンを実施（11月13日～12月12日）。

当選者へ冊子を1部送付するとともに、たまごギフト券（300円/人）をプレゼントする取り組みとして、上限4千人の計画でスタート。

全国から10,722名の応募があり（同一住所者を除く）、より多くの消費者に冊子を読んでもらいたいとの思いから、当選者数を増加し、「要約版」も付加して送付することとした（1月下旬発送予定）。

#### 《冊子》



#### 《要約版》





## 2. 会員のみなさまへ

1 1月号でもご紹介した通り、追加で冊子を希望される会員の方々へ、実費相当額（100円/冊：税込・送料含む）にて有償での提供を継続しております。

すでに会員・料理学校等より、鶏卵普及資材・教材目的などで、多数のご注文をいただいております。もし、ご注文がまだのようでしたら、下記までご連絡ください。

【ご注文は】日本養鶏協会 業務第3部 03-3297-5515

## 3. 協会HPへのデータ掲載について

- ◎ 日本養鶏協会サイト（「養鶏協会」で検索）  
<http://www.jpa.or.jp/>
- ◎ 魅力あふれる安全安心の国産鶏卵（協会サイトホーム下部にバナー）  
<http://www.jpa.or.jp/news/gyosei/20220316/index.html>

【お問い合わせ】

業務第3部 Tel:03-3297-5515



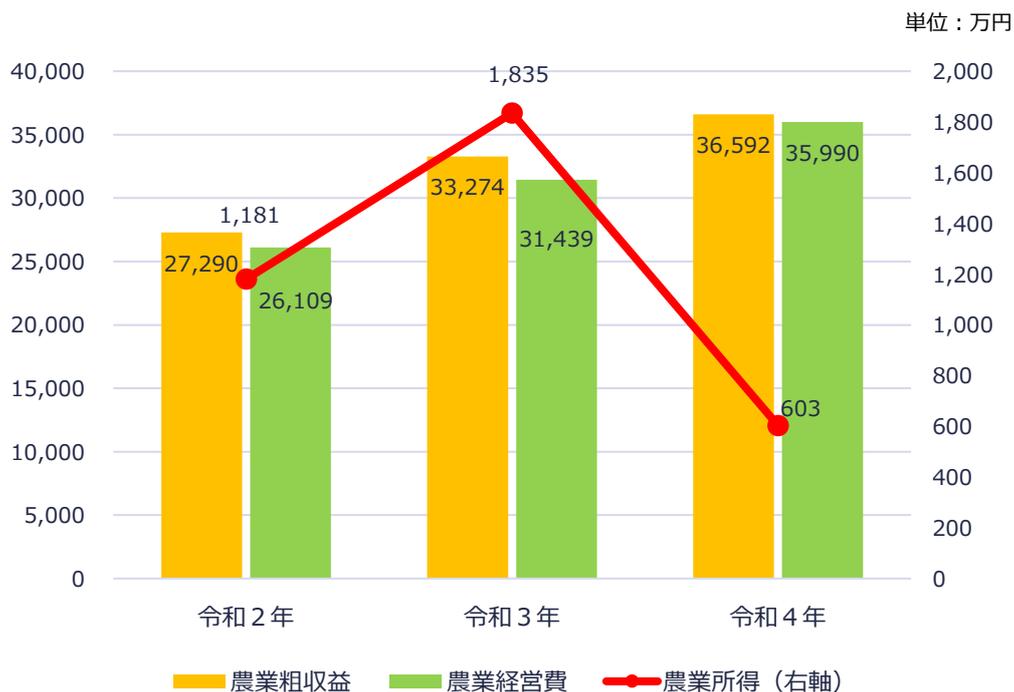
## 農業経営統計調査 農業経営収支（農林水産省）

令和5年12月12日、農林水産省から「農業経営統計調査 令和4年農業経営体の経営収支」が公表されました。採卵養鶏経営に係るデータをご紹介します。

### 1. 営農類型別の農業経営収支（全農業経営体）

令和4年における採卵養鶏経営（全国平均）における1経営体当たりの農業粗収益は、36,592万円、農業経営費は35,990万円でした。

採卵養鶏経営の農業経営収支の推移（全農業経営体・全国・1経営体当たり）

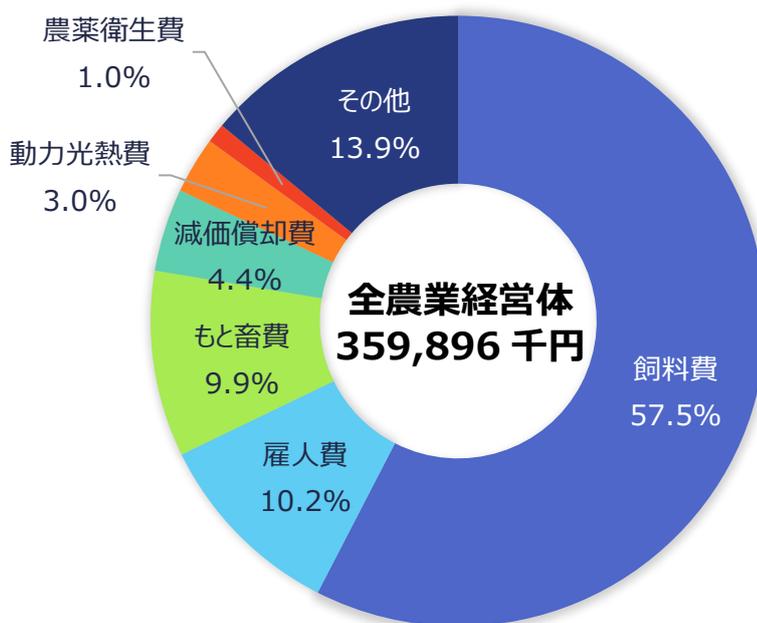




## 2. 営農類型別の農業経営費の比較（全農業経営体）

全農業経営体1経営体当たりの農業経営費を営農類型別にみると、最も高かったのは飼料費で207,115千円、次いで雇人費で36,878千円でした。

採卵用鶏経営の営農類型別の農業経営費率（全農業経営体）



### ■ [営農類型別経営統計（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/)

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/>

### ■ [令和4年 農業経営体の経営収支（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/attach/pdf/einou_22.pdf)

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/attach/pdf/einou\\_22.pdf](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/attach/pdf/einou_22.pdf)

### 【お問い合わせ】

大臣官房統計部経営・構造統計課

担当者：営農類型別経営統計班

代表：03-3502-8111（内線 3636）

ダイヤルイン：03-6744-2043

担当者：農業組織経営統計班

代表：03-3502-8111（内線 3638）

ダイヤルイン：03-6744-2243



## 統計データ



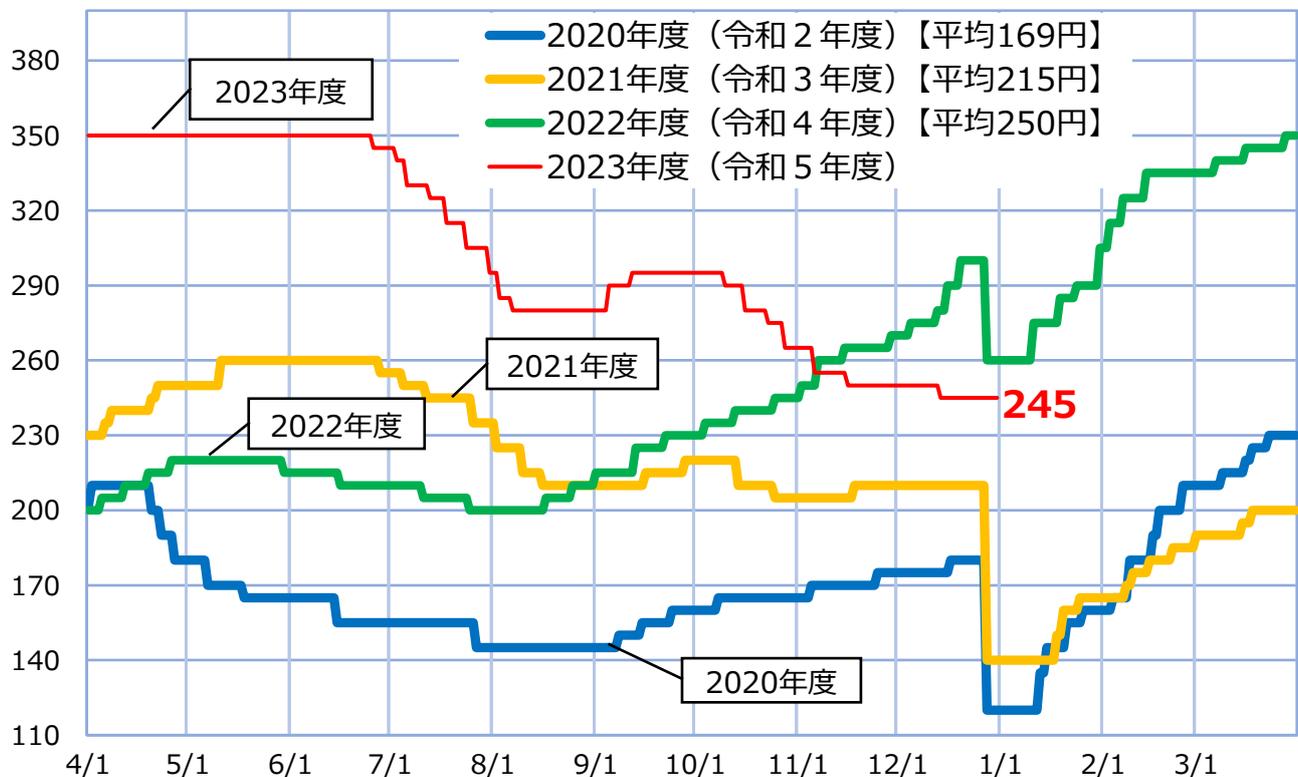
### 鶏卵相場動向 — 過去10年間の12月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成26年	242	263	234
平成27年	252	273	244
平成28年	231	253	216
平成29年	228	248	219
平成30年	195	213	189
令和元年	219	243	204
令和2年	171	195	159
令和3年	207	230	199
令和4年	262	292	239
令和5年	247	274	239
平均値	225	248	214

令和5年12月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値274円は、過去10年の平均値248円を26円上回り、安値239円は、過去10年の平均値214円を25円上回っています。



### 鶏卵相場推移 2020年度～2023年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は6月末から8月迄下降が続き、9月に入り上昇に転じ、12月末時点では、月初から5円割安の245円となりました。今シーズンも鳥インフルエンザ発生の影響に注視が必要です。



## 鶏卵関係主要計数 —— 令和5年10月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
			数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
4年 11月	8,767	96.8%	481	99.4%	911	98.6%	207	262
12月	9,076	94.8%	511	96.9%	943	99.6%	210	284
5年 1月	8,475	99.3%	447	96.7%	898	96.8%	151	280
2月	8,289	95.6%	424	93.7%	849	94.8%	175	327
3月	9,470	102.4%	475	92.3%	828	86.3%	195	343
4月	8,715	98.6%	436	89.6%	846	92.2%	211	350
5月	9,349	100.5%	462	97.0%	833	89.0%	219	350
6月	9,641	114.1%	443	90.9%	817	94.9%	213	349
7月	9,325	103.4%	428	96.9%	813	88.8%	205	320
8月	8,694	102.5%	434	93.0%	859	97.9%	204	282
9月	8,053	102.9%	427	92.4%	849	96.2%	223	292
10月	8,801	104.7%	457	97.3%	891	93.2%	239	283
1年間合計 平均(%)	106,655	101.3%	5,425	94.7%	10,337	94.0%	204(平均)	310(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,801千羽（前年比104.7%）と前年比4.7%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、457千トン（前年比97.3%）と前年比2.7%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、891グラム（前年比93.2%）と前年比6.8%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の44円高を示しました。

## 協会活動報告



### 鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業の事業参加者との  
契約数量（単位：t）

令和 2年度	1,957,918
令和 3年度	1,840,695
令和 4年度	1,794,699
令和 5年度	1,731,712

② 標準取引価格

令和5年12月 240.68円/kg

③ 鶏卵価格差補填事業

補填基準価格 209円/kg

安定基準価格 190円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

Tel: 03-3297-5515 Fax: 03-3297-5519 発行日: 2024年1月9日

編集・発行責任者: 浅木 仁志(info@jpa.or.jp)